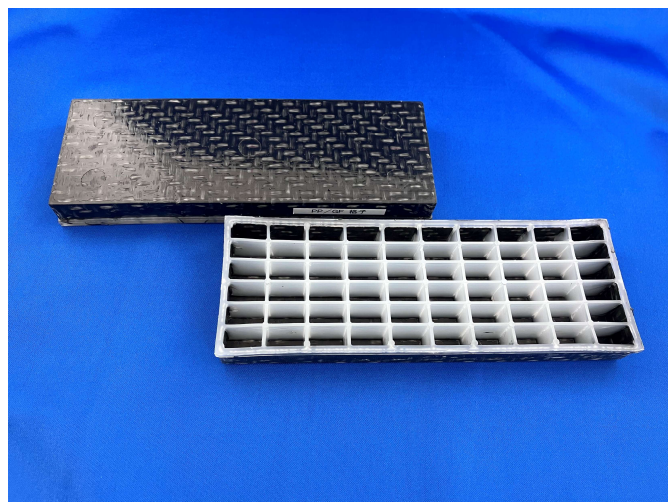


横型ハイブリッド成形量産化技術の開発

株式会社八木熊



航空機産業の航空機で使用される金属部品を、繊維複合材料に置き換えることで、航空機の軽量化を達成します。

企業名	株式会社八木熊
業務内容	合成樹脂成形品の設計開発、製造、販売
所在地	福井市照手2丁目6-16
担当者	水野 孝二郎
問合せ先	TEL 0776-67-1350 MAIL k.mizuno@yagikuma.co.jp



企業HP

1.事業実施の経緯

繊維プリプレグと樹脂材料を同時に成形するハイブリッド成形では、横型、縦型の方式があり、国内では縦型が主流です。そのため新規での設備投資が必須になり製品コスト増、技術開発時間増になります。当社では、横型成形機を多数保有しており、ハイブリッド成形を導入時に初期設備投資を抑え、開発時間の短縮を図ります。

2.事業内容

福井県工業技術センターにある30cm×30cm程度のシートを使用できる横型ハイブリッド成形機を利用して、初期の技術開発を行いました。福井県工業技術センターの成形機に弊社で新規金型を用意し、ハイブリッド成形に関する各種条件（シート形状、成形条件、プレス条件、搬送条件、加熱条件）を確認しました。

最終的には自社の設備で、大型化、高速化を目指しました。



本社



福井工場

株式会社 八木熊

図 会社外観

3.事業の成果

横型ハイブリッド成形での試作のため、特殊動作でのシート落下防止機構付き金型を製作しました。福井県工業技術センターでのハイブリッド成形の実施及び成形品の界面剥離測定を実施しました。

4.製品・技術のPR

横型ハイブリッド成形によって、従来より成形サイズの拡大が可能になりました。今後は航空、自動車業界等での大型部品の成形を行い大型部品の高剛性、軽量化の実現を目指します。

開発者の声

水野 孝二郎

今回の横型ハイブリッド成形技術の開発については、縦型から横型にするだけではなく条件全体の見直しが必要でしたが、一定の成果が出たことには満足しております。今回ご協力頂きました関係機関には様々なアドバイス等を頂きまして誠にありがとうございました。

経営者の声



代表取締役社長
八木 信二郎

当社はこれまで射出成形技術の応用としてハイブリッド成形の研究開発を進めてきましたが、今後は横型射出成形機を生かしての研究開発を進める事で、更なる技術の拡大、コストダウンに貢献できると感じております。